

会 議 記 録				
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会			会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成29年11月20日(月曜日)			開 議 午前10時00分
				閉 議 午前11時34分
出席委員	◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井			
執行機関出席者	大西総務部長、森川自治防災課長、牧野自治防災課副課長、 岡田自治防災課セーフコミュニティ係長、 山本教育部長、中川教育総務課副課長、 山下曾我部小学校長、猪子 ISS 推進部代表 (川東保育所長)			
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長			
傍聴	可・否	市民 0名	報道関係者 1名	議員 0名()

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 日程説明

3 案件

(1) 行政報告

○セーフコミュニティ・セーフスクールの事前審査について (総務部・教育部)

総務部長 あいさつ

平成29年台風第21号災害に係る地域再建被災者住宅等支援
補助金制度について、別添資料により説明

各担当 別添資料により説明

- ・セーフコミュニティの概要説明 自治防災課セーフコミュニティ係長
- ・対策委員会の取組説明 自治防災課副課長
- ・セーフスクールの取組説明 曾我部小学校長
ISS 推進部代表 (川東保育所長)

11:20

《質疑》

<小松委員>

資料のP9、セーフコミュニティに取り組んでいる16自治体の評価で、「推進力」は配点が2点で平均点が2点ということだが、他の自治体がほぼ満点に近いと思われる状況の中で、なぜ亀岡市の評価は1点なのか。

<セーフコミュニティ係長>

それについては、日本セーフコミュニティ推進機構の白石さんが分析されたもので

あり、小数点以下の四捨五入の関係もあると思う。結果だけをもって、詳細な内訳はまだもらっていないので理由はわからない。どこの市も1点か2点という状況の中で、亀岡市は1点であったということである。

<小松委員>

白石さんから報告を受けるだけで終わりなのか。
亀岡市から内容を問い合わせることはないのか。

<総務部長>

これは白石さんが亀岡市の取組みを判定された結果である。
「推進力」の評価が低いのではないかとということだが、亀岡市は日本の中で、セーフコミュニティのリーダーとして引っぱってきていると思っているので、もう一度白石さんには評価内容について確認をとっていきたい。

<小松委員>

曾我部小学校での取組みを報告いただいた。
教職員の皆さんにかなりの負担がかかっているように思うが、その取組み成果を他の学校に波及させて、一般化できるものなのか。

<教育部長>

例えば、ケガ等のデータの取りまとめや分析だけでも、かなりの負担があると考えているが、現在、小・中学校における安全対策の取組みとして、各学校に学校安全対策委員会を設置し、その中に地域の民生委員等、各種団体も入っていただき、協働の体制により安全対策の取組みを進めてもらっている。そこに、曾我部小学校で取組まれているISSのよい部分、可能な部分を取組んでいけたら、少しずつ広がっていくのではないかと考えている。

<小松委員>

曾我部小学校の校長先生から詳細な報告をいただいたが、事前審査のための取組みとなっていないか。事前審査のためにこれだけのことをしなければならず、それが負担になっているのではないか。ここまでの取組みをしなくても安全が確保できるのではないかと思うが、どうか。

<曾我部小学校長>

どんな世界、どんなところでもそうだと思うが、節目のある取組みに向かって、日頃以上のパワーを発揮するというのは、どこにでもあることだと思う。
この指定を受けることによって底力を出しているという側面はあると思うが、それを負担とを感じるか、やりがいとを感じるかは、多少、職員によって違いはあると思うが、基本的には亀岡の代表としてやりがいを持って頑張ってもらっている。
校長の目から見ると、取組みが肥大化していく傾向があるので、それをどうスリム化して日常的な取組みとしていくのか、そういう視点は常に必要と思いながら取組んでいる。
(質疑終了)

4 その他

・次回の日程について

日時：12月15日（水） 午前10時～
案件：12月定例会における議案審査

<竹田委員長>

セーフコミュニティ・セーフスクールの事前審査への参加申込みについて、まださ

れていない人は事務局を通じて申込みいただき、できるだけ多くの参加をよろしく
お願いします。

散会 ～ 11 : 34